



とで十分検討したい。

◆国保の不納欠損の原因は

問 国保の不納欠損が、平成15年、16年、17年の3カ年で急激に増大し、1億円近くに達しているが、原因はどこにあるのか。その負担は、加入者は無論、市民全体にかかってくる訳であり、その対策もあわせてお聞きしたい。

(塩原)

答 不納欠損は、所在不明者が216人と多く、住所移動の届出を行わない者、届出をしてもその後不明になるケースが多い。対応については、今後、転出局出の際のチェック体制や追跡調査の一層の強化を図っていきたい。

◆有効性ある入札制度に

問 入札制度の見直しを考えているのか。

(伊藤)

答 国や県の制度をそのまま採用するつもりはないが、地域活性化という事も加味しながら、より有効的な制度にするべく検討をしていきたい。

◆職員の健康管理は

問 職員の健康管理の取り組み状況とメンタル・年休取得超過勤務の状況は。

(今井)

答 職員の安全と健康を確保することは、市の責務であり重要な課題です。毎年、安全

衛生管理計画を策定し定期健康診断やガン検診など実施し必要に応じ保健師が個別に指導をしている。心の病への対応は、月2回メンタルヘルスカウンセリングを実施し、昨年は120人が受診した。17年度の超過勤務は一人平均140時間、年休取得は7・2日であった。

ヘルスパ

塩尻の運営状況は

◆柿沼苗圃跡地利用は

問 柿沼苗圃跡地利用についての経過と進め方は。

(吉江)

答 地元区の研究対策委員会による視察や、説明会を開催して来ている。この施設が設置された場合、電磁波の安全性や電波障害に不安がある中で、実証実験を考えている。今後は区の意見集約により要望があれば十分な話し合いのもとで進めたい。

◆草競馬無料シャトルバスを強化

問 高ボッチの草競馬に無料シャトルバスを運行して来場者増を計ってはどうか。

(五味)

答 シャトルバスによる送迎を強化、検討していきたい。

◆ヘルスパ塩尻存続必要か

問 ヘルスパ塩尻は建設以来20年程経過し、又全国報道にもあった様に財団の不可解な運営状況もある中、市の土地を無料(試算年1千万円)で借り、固定資産税(試算年500万円)も全額免除し、年1千500万円程の委託料というような状況であるので、早急に契約を解除し、駐車場等の利用としたらどうか。

(伊藤)

答 年間利用者も多いことから存続していきたいと思う。固定資産税については、徴収する方向で内容等詰めている。

◆農業の飛散防止に補助

問 農業の飛散防止対策で低飛散型ノズルなどへの補助は早急な対応が必要か。

(武居)

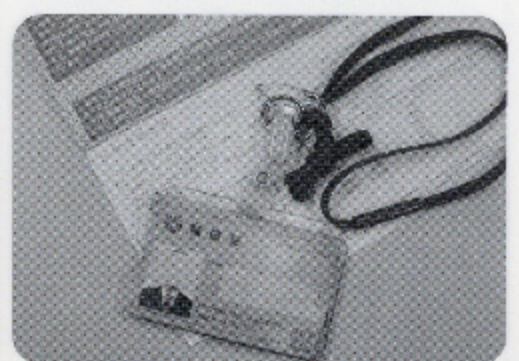
答 今年度、実績への補助を行えるよう農協と調整する。



ヘルスパ塩尻



議会でも地域開発特別委員会で柿沼苗圃跡地利用に関する視察を5月に実施



職員の健康と心の病への対応を